

# 簡易的なひびわれ注入工法による 補修材料の注入効果の検討

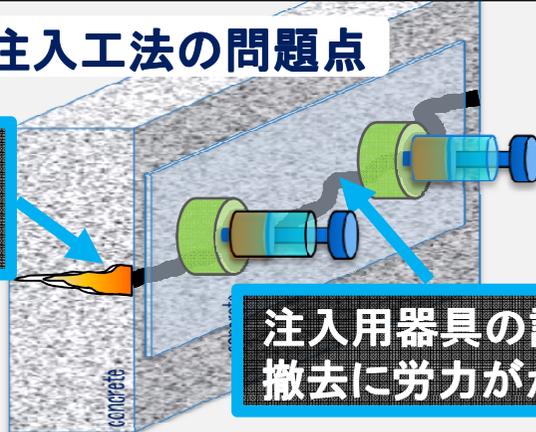


## 背景

コンクリートのひび割れは、  
構造物の耐力の低下、鉄筋の腐食の原因

### ▼ひびわれ注入工法の問題点

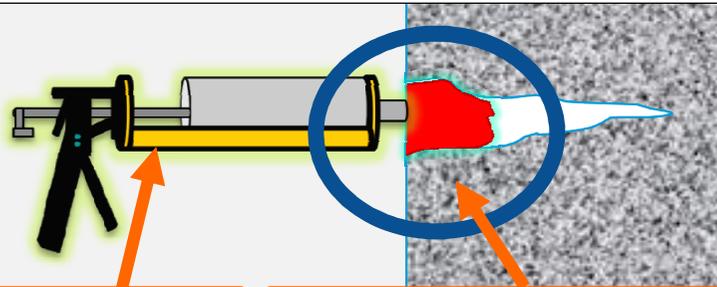
完全な充填  
は困難



注入用器具の設置と  
撤去に労力がかかる

## 目的

表層付近で材料を止めることでも、  
補修効果を満たせるような補修材の検討。



コーキングガンを用いて、簡易的に  
注入を行う

表面に止めることで、  
材料を少なくすることができ、  
コスト削減に繋がる。

## 材料

セメント	混和剤	ポリマー
N	増粘剤	アクリル
BB		EVA
HS		SBR

材料の種類・  
添加量を変  
化させて試験  
を実施

粘性を付与し、  
流動性を低下

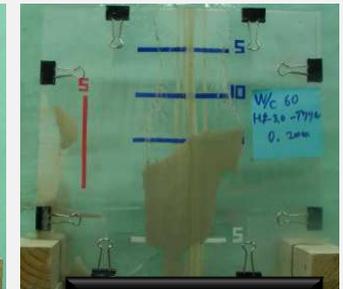
中性化抵抗性  
の向上

## アクリル板注入試験

どのような  
配合の材料  
が止まるか  
を選別



増粘剤あり



増粘剤なし

## コンクリート注入試験

供試体に注入を行い、  
補修後のコンクリート  
の耐久性を検討



## 中性化試験機

